

中海出張所便り

第12号(10月13日版)

平成12年鳥取県西部地震から10年

平成12年10月6日午後1時30分鳥取県西部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、鳥取県日野町、境港市で震度6強を観測しました。

奇跡的にも死者は1名も出ませんでした。負傷者が182人にも及ぶ大災害でした。

中海出張所管内では、河川堤防の沈下や道路の陥没等が発生するといった大きな被害を受けました。

その後、3年余りの歳月をかけて災害復旧工事を行い、堤防の耐震性の向上を図るとともに、パラペット(コンクリートの壁)を無くして人々に親しまれる堤防に生まれ変わりました。

今回は、被災から丸10年経過した現地の状況を写真で紹介します。

●平成12年鳥取県西部地震概要●

発生日 : 平成12年10月6日 発生時刻 : 午後1時30分

最大震度 : 震度6強(鳥取県日野町根雨、境港市東本町)

被害 : 死傷者数(なし) 負傷者数(182人)

全壊(435棟) 半壊(3,101棟) 一部破損(18,544棟)

被災後状況

(安来市 飯島町、亀島町)



↑ アスファルトが波打つとともに、護岸が大きく変形、沈下した。

現在の状況

護岸の胸壁(パラペット)に亀裂が発生し、一部が押し上げられた↑



↑ 伯太川に新たに橋梁が整備され、堤防道路は「なかうみマラソン全国大会」のコースになっています。



被災後状況

(安来市 黒井田町細井地先)



↑ 堤防天端が沈下し、大きく変形した。

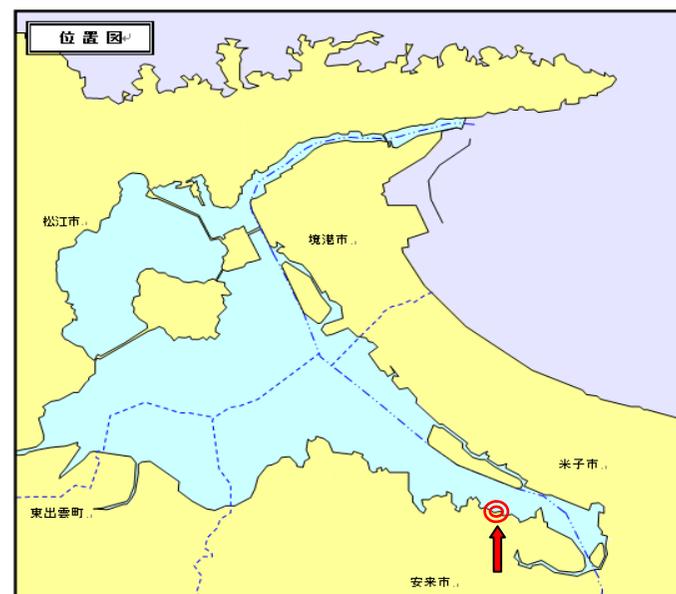


↑ 堤防が最大40cm沈下

現在の状況

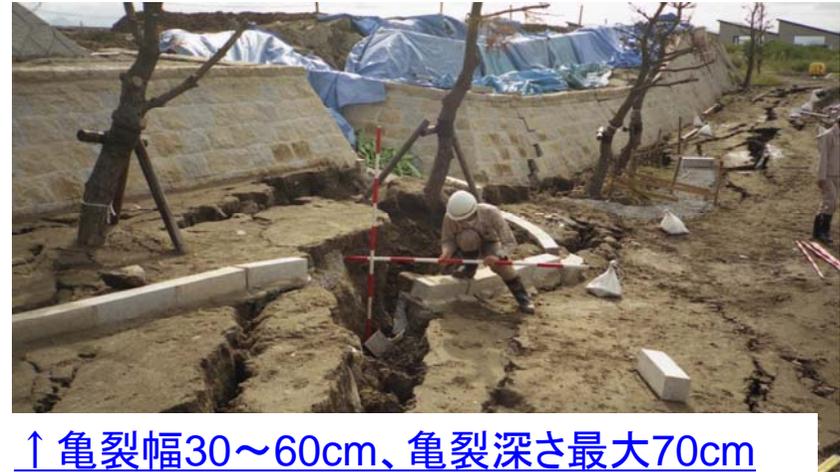
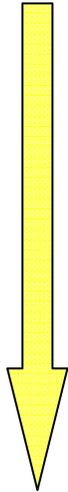


↑ 対岸に米子、境港方面を一望できるウォーキングコース
となっています。



被災後状況

(境港市 小篠津町地先)



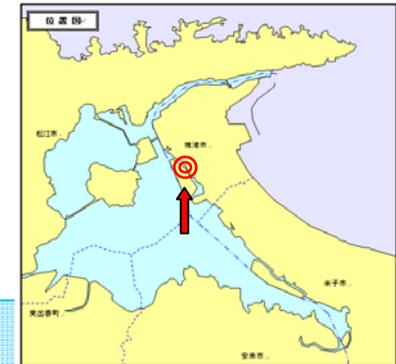
↑ 亀裂幅30~60cm、亀裂深さ最大70cm

↑ 護岸工事中の現場が被災。
縦断方向に多数の亀裂が発生した。

現在の状況



↑ 弓浜承水路に面した散策道となっています。



～担当者からのひとこと～
震災から10年が経過しましたが、この教訓を風化させることのないよう、河川管理に努めていきたいと思ひます。
災害は、いつどこで起こるかわかりません。その為、普段からの備えと、いざという時の対応を日頃から家庭や地域でも話合ふことが大切だと思ひます。